



▲文化祭の模擬店で販売するカレーなどを調理する隊員ら



村の高校「盛りあげたい」 OBら文化祭を応援

相馬農業高校飯館分校（渡部敏分校長）を応援しようと今年3月に結成された「飯館分校盛りあげ隊」。隊員の皆さんが、先月開催された同校文化祭「紅葉祭」に参加、祭りの盛りあげに汗を流しました。

「盛りあげ隊」は、飯館分校の同窓生らが村民などに賛同を募り結成された団体で、隊員は約600人。「分校存続のために自分たちでできることをしたい」と組織されました。

10月28日の文化祭当日は、有志10人が模擬店で販売するカレーやうどんなどの調理や呼び込みなど生徒といっしょにお客様の応対に追われていました。

県内には、現在六つの分校があります。定員割れの学校が大半です。

県によると、高校の入学者が募集定員の半数に満たない年が3年継続すると翌年以降の生徒募集が停止される制度となっており、飯館分校も例外ではありません。

今年度の飯館分校の入学者は35人で、募集定員40人の半数（20人）を大きく上回っており、直ちに廃校という状態にはありませんが、少子化が進めば近い将来、村の高校がなくなってしまう恐れもあります。

教育委員長に佐藤氏を再任



佐藤 隆明さん
(上飯橋)

村教育委員会は、10月3日に臨時会を開き、佐藤隆明委員長を再任しました。

教育委員会の新しい構成は次のとおりです。

教育委員長 佐藤 隆明
委員長職務代理者

教育長 佐藤 眞弘
菅野 茂

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

制服の着こなし

制服の着方の基本は、美しく清潔に着ることです。飯館村の小・中学生の制服の着こなしの様子を見ると、大部分の子どもたちは美しく、清潔です。

一方、わざとズボンを摺り下げてはく、シャツをズボンからはみ出しておこななどの男子生徒、スカートを短くはく、ブラウスのボタンをはずしておくなどの女子生徒も見かけます。

昔から「服装の乱れは心の乱れ」と言われています。これは確かな事実です。

特に問題なのは、注意されても素直に直せない生徒です。私の体験では、これらの生徒はいつか所属する集団から認められない「人間」になってしまう傾向があるように思います。

わが子の美しい着こなし、たつぷりほめてください。ますます美しく育ちます。もう一息と思えたら、わが子の良いところを見つけてほめ、ねぎらい続けましょう。素直な心と美しい着こなしのわが子に変身します。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫